

SSO対応の複数組織コンソールおよび子組織への新しい管理者の作成

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[実行手順](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco UmbrellaのSAML対応のマルチ組織コンソールまたはMOCおよび子組織に新しいユーザを追加する場合に想定される動作について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

マルチ組織では、最初に「シングルサインオン」MSP組織にユーザを追加し、後で関連する他の子組織に招待することをお勧めします。

これをもう一方の方法で行う場合、最初に子組織でユーザを作成し、次にMSP組織でユーザを作成します。その後、ユーザは「シングルサインオン」組織に参加する前に静的パスワードを必要とします。これは、ほとんどのお客様には望ましくありません。

実行手順

1. ユーザーを複数組織に追加し、フォローします。
2. ユーザーをsecure xに追加し、電子メールの指示に従います。
3. 最初にマルチ組織、次に子組織にログインして、機能するかどうかを確認します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。